

130周年、  
新たに



若築建設

2020年3月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年11月20日

<b>1. 当社グループの概要</b>	<b>P. 3</b>
当社の概要	P.4
沿革	P.5
企業理念・経営理念	P.6
10か年業績推移（連結）	P.7
事業領域	P.8
これまでの施工実績	P.9
当社の強み	P.13
<b>2. 中期経営計画の概要と進捗状況</b>	<b>P.15</b>
経営環境認識（中計策定時点）	P.16
中期経営計画の概要	P.17
基本戦略と進捗状況 個別報告	P.18
数値目標（単体）と進捗状況	P.20
株主還元について	P.21
<b>3. 2020年3月期2Qの決算概要と通期予想</b>	<b>P.22</b>
決算のポイント	P.23
決算サマリー 損益等の状況	P.24
セグメント別の状況（単体）	P.25
受注高の推移（単体、セグメント別・官民別）	P.29
財政状態（連結）	P.30
キャッシュフローの状況（連結）	P.31
2020年3月期 通期業績予想	P.32
2020年3月期 通期セグメント別予想（単体）	P.33
主な完成工事・受注工事	P.34



# 1. 当社グループの概要



# 当社の概要

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD.)
東京本社	東京都目黒区下目黒二丁目23番18号
本店	北九州市若松区浜町一丁目4番7号
創立	1890年（明治23年）5月23日
代表者	代表取締役社長 五百蔵 良平
売上高	連結：996億円 単体：962億円（ともに2019年3月期）
従業員数	連結：758名 単体：681名（ともに2019年3月31日現在）
資本金	113億7千4百万円
株式上場	東京証券取引所市場第一部【証券コード 1888】
事業内容	国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業
連結子会社	3社：新総建設株式会社、大丸防音株式会社、株式会社都市空間



◀東京本社

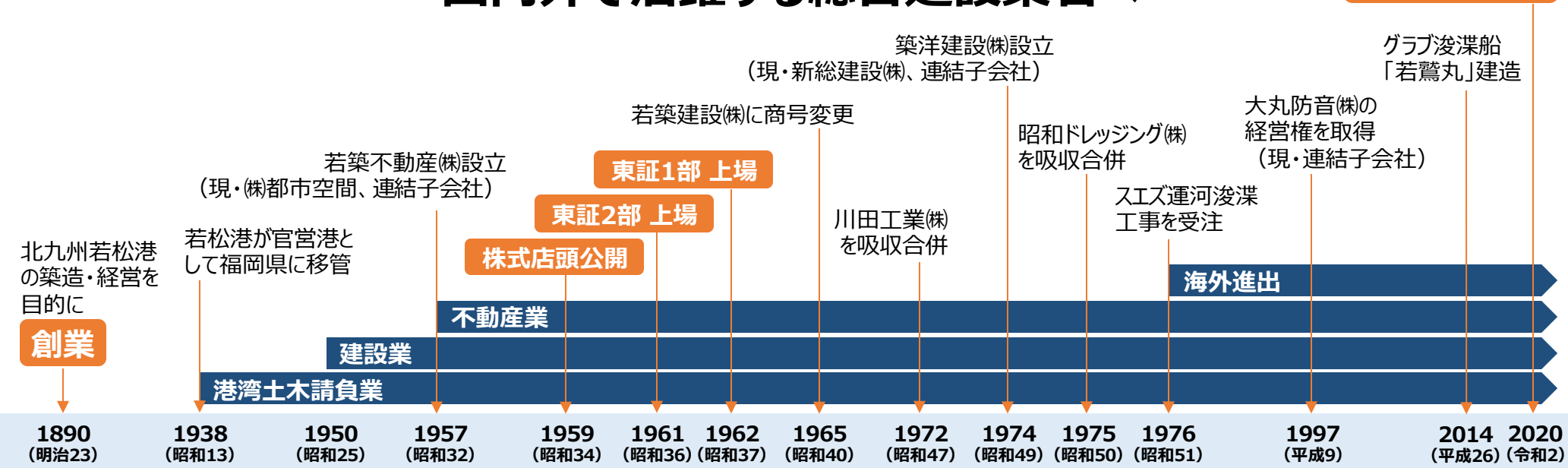


本店



## 創業からの強みである海上土木を基礎に130年、 国内外で活躍する総合建設業者へ

創業 **130** 周年



創業当時の社屋

【営業拠点等 設置状況】

## 企業理念

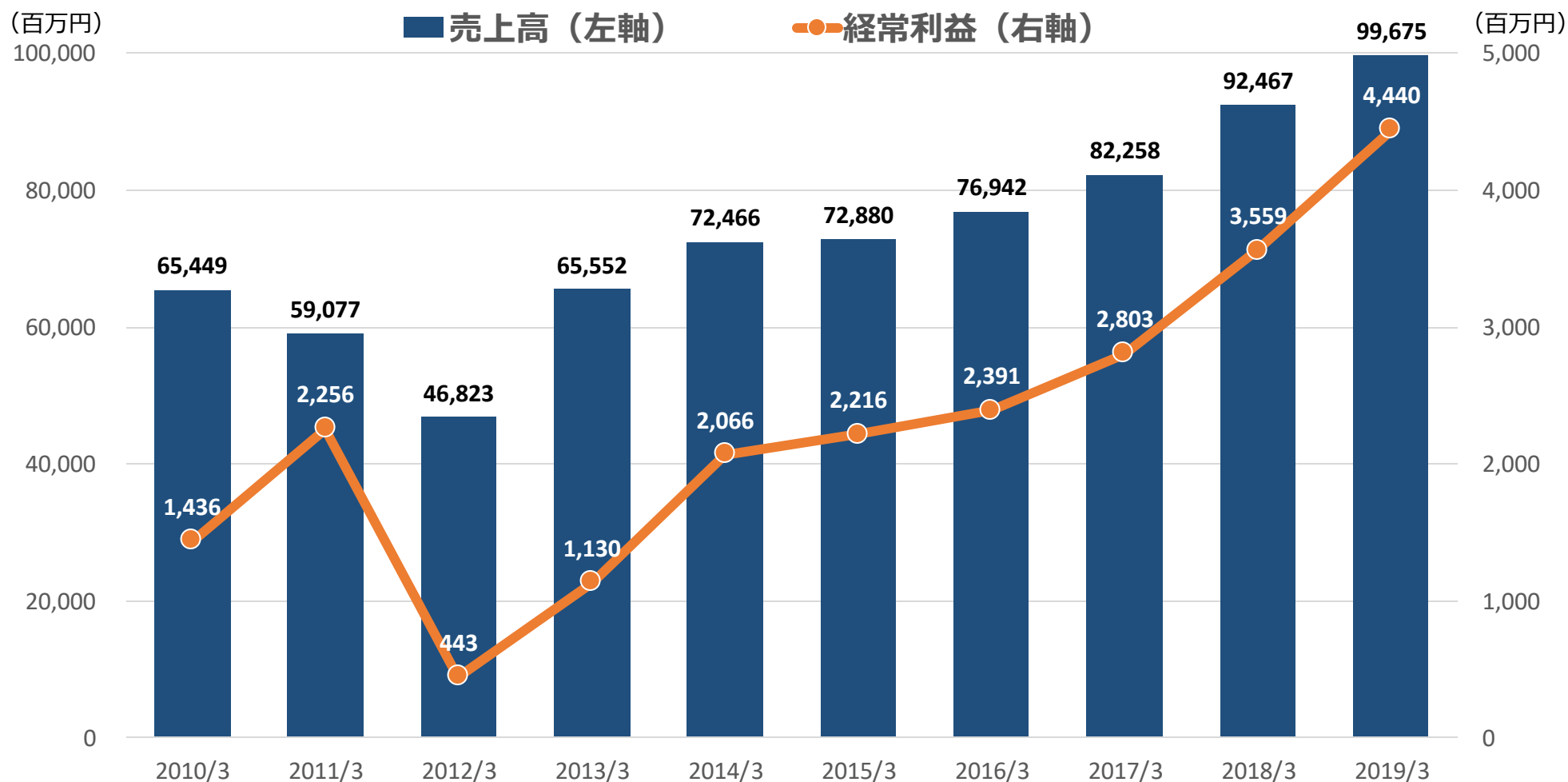
# 内外一致 同心協力

- 当社初代社長石野寛平は、後に若松港の築造事業と運営の道のりを「若松築港沿革記」という手記にまとめています。
- 石野はその中で、「内外一致同心協力」せし人々の働きが事業を成功に導いたと述べております。  
「内外一致」つまり官と民また、地域と地域それぞれの人々が同じ目的に向かって、「同心協力」心を一つにして力を出し合う。これこそがまさに建設事業の基本であります。  
そして、その心は一世紀を超え、今もなお企業理念として役職員一人一人を成長させています。

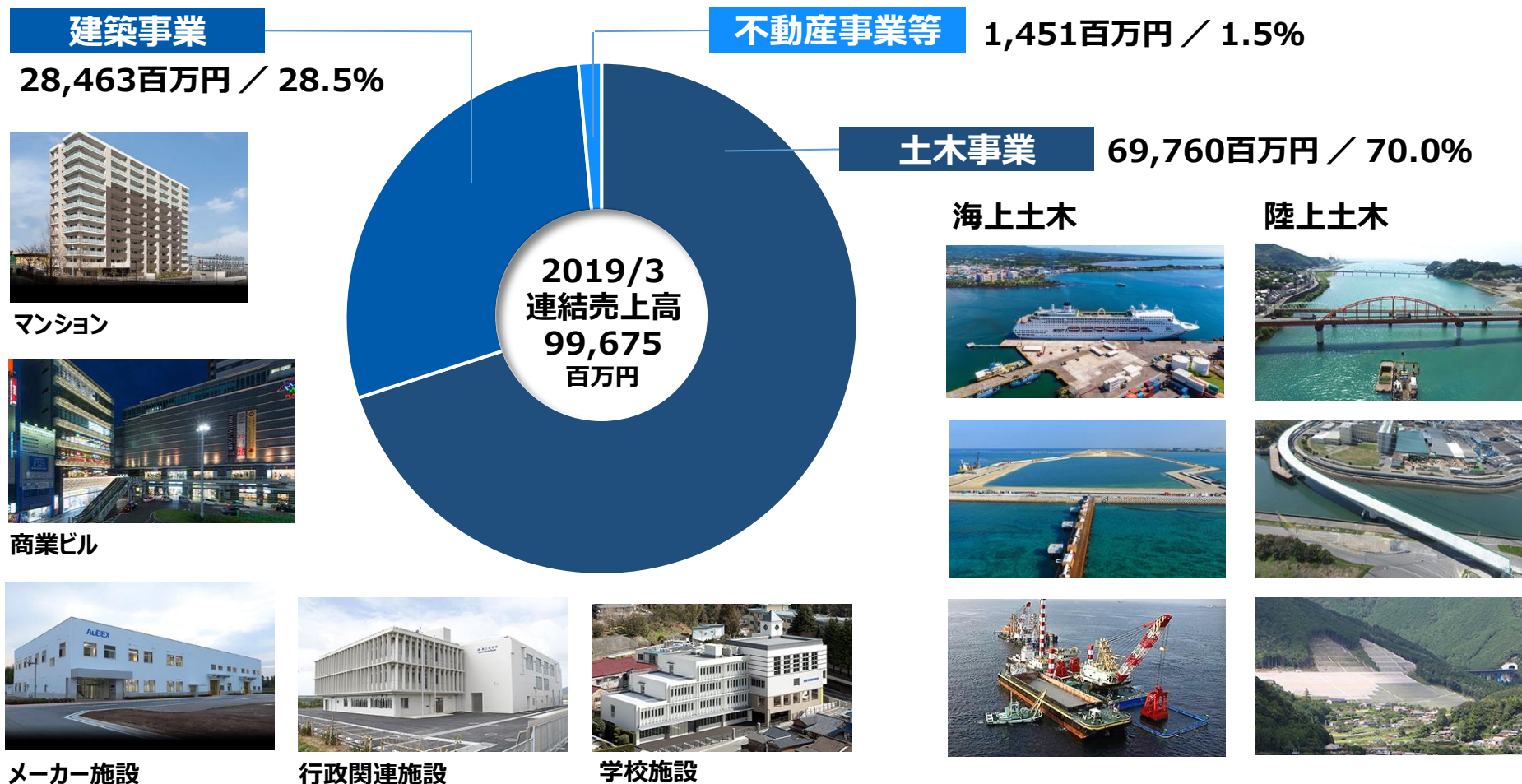
## 経営理念

「品質と安全」を核とした施工により、  
お客様の信頼を高め、社会に貢献する。

# 10か年業績推移（連結）



## 海上土木・陸上土木・建築など、総合建設業を国内外で展開





# これまでの施工実績 1/4

## 国内土木 ① 海上土木

海上  
空港



海上  
空港



写真提供：内閣府沖縄総合事務局

栈  
橋



災害  
復旧



# これまでの施工実績 2/4

## 国内土木 ② 陸上土木

橋  
梁



下  
部  
工



九  
州  
新  
幹  
線



風  
力  
発  
電



# これまでの施工実績 3/4

## 国内建築

学  
校

九州女子大学・九州女子短期大学新築



集  
合  
住  
宅

伊藤忠金沢マンション新築



工  
場

かわむら気仙沼工場新築



複  
合  
施  
設

(仮称) 照葉香椎5丁目計画



# これまでの施工実績 4/4

## 海外

港湾施設



橋



梁

病院



太陽光発電



## 海上土木分野

### “豊富な施工実績” と “最新技術への対応”

- 自社保有船『若鷺丸』  
～ハイブリッド式グラブ浚渫船



- 自社保有船『第八大亀号』  
～ケーソン製作



- i-Construction大賞優秀賞の受賞  
～須崎港湾口地区防波堤築造工事



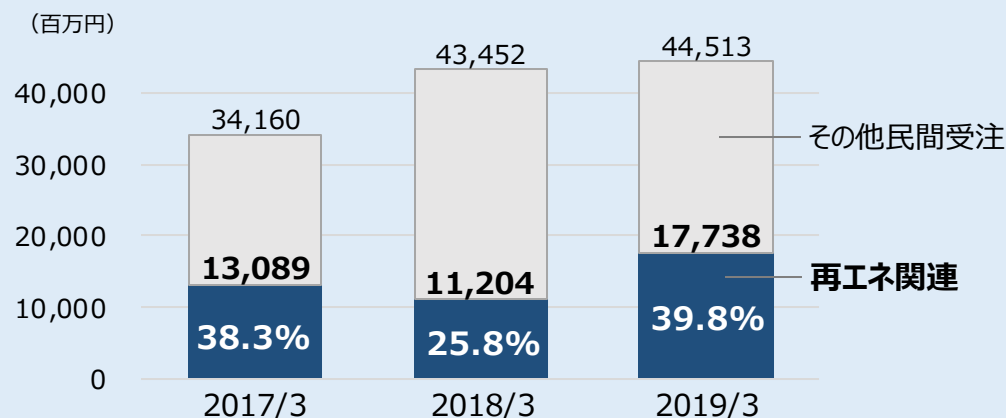
- Zboat(自立航行)  
～栈橋上部工の劣化調査



## 民間土木・建築分野

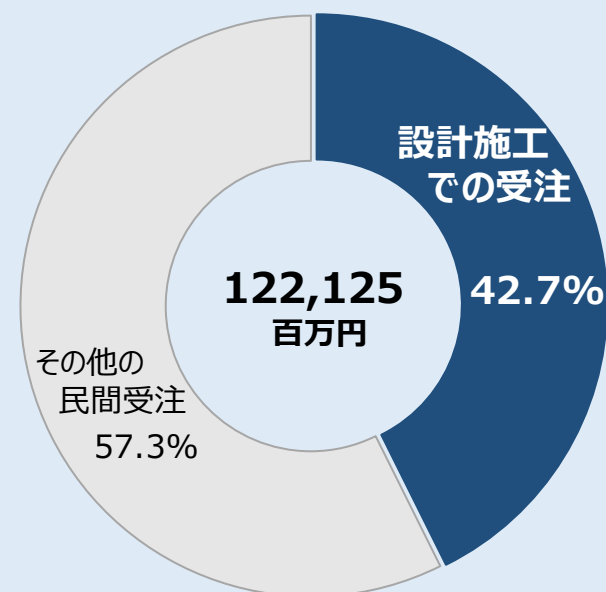
### “再生可能エネルギー関連施設建設への注力” と “設計提案力の充実”

#### ○再生可能エネルギー関連受注額の推移

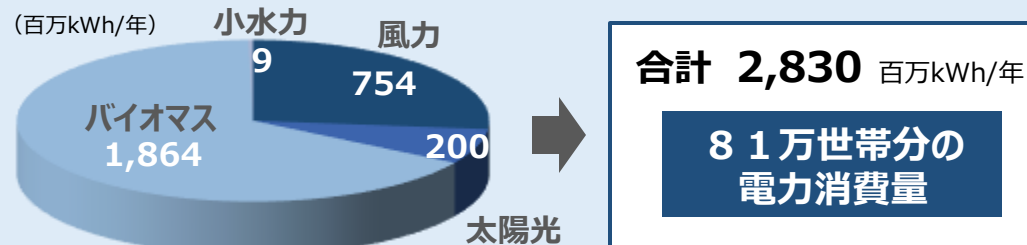


#### ○設計・施工での受注額比率

##### 直近3年間の民間受注額



#### ○携わった再生可能エネルギー関連施設の年間発電量総計



## 2. 中期経営計画の概要と進捗状況



\* 中計策定時点 = 2018年5月

## 景気は回復基調を継続

- 政府による経済政策の推進により、公共投資は底堅く、企業収益の改善を背景に民間投資も増加傾向を継続
- 海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意、労働市場では人手不足感の高まり

## 経営環境認識

### 公共投資

堅調に推移  
但し長期的には不透明

- ・国際コンテナ戦略港湾政策の深化と加速／官民連携による国際クルーズ拠点の形成／防災・減災対策の推進等／国際バルク戦略港湾政策の推進／公共インフラの老朽化（維持・更新ニーズの拡大）
- ・各種プロジェクト（空港の整備事業、リニア・整備新幹線他）

### 民間設備投資

しばらくは堅調に推移

- ・臨海部での民間設備の耐震化・維持・修繕／火力発電所の新・増設／太陽光、風力、バイオマス、小水力発電等再生可能エネルギー事業の活発化／今後期待される洋上風力
- ・東京オリンピック・パラリンピック関連事業 ⇒ 多方面へ誘発的な建設需要の増加
- ・インバウンド関連事業（ホテル・商業施設等）

### 海外市場

- ・政府のインフラ輸出の推進、日系企業の活動のグローバル化

### 「働き方改革」への取り組み

- ・建設就労者の加速する高齢化、将来を担う若者の確保・育成（週休2日、時間外労働の上限規制への対応）
- ・ICTの活用による生産性の向上



## 中期経営計画（2019/3期 – 2021/3期）

～2020年 創業130周年を節目に 新たなるステージへ～  
国内土木事業・建築事業の更なる強化に、海外事業を加え、バランスのとれた収益体制へ

### 基本方針

更なる成長へ向け、経営資源の有効活用により  
「収益力の強化」を図る

### 当社の課題

- 収益力の強化（営業利益率の向上）
- 生産性の向上、人材の育成、働き方改革への対応

### 基本戦略

1. 「品質・安全」を核とした、工事施工高の緩やかな増加
2. 土木部門の更なる強化（海上土木はマリコントップクラスとしての進化）
3. 民間部門の拡充
4. 人員の確保・育成、活力の向上
5. 海外事業の基盤強化
6. 「更なる成長」へ積極的な資金投資
7. 「働き方改革」への取り組み

進捗状況はP18へ ▶▶▶

進捗状況はP19へ ▶▶▶

## 4. 人員の確保・育成、活力の向上

### 1. わかちく社員教育プロジェクト『はぐくみ』

- ・明確なキャリアプランの提示
- ・階層別研修、部門別研修の充実
- ・クラウド型教育システムの導入



### 2. 女性活躍推進

「第4回けんせつ小町活躍推進表彰 特別賞（日建連）」受賞

女性現場技術者が妊娠しましたが、本人の働く意志・希望により、当社がサポート体制を整え、発注者のご理解・ご支援を頂き、現場代理人の職務を継続し工事完成まで従事しました

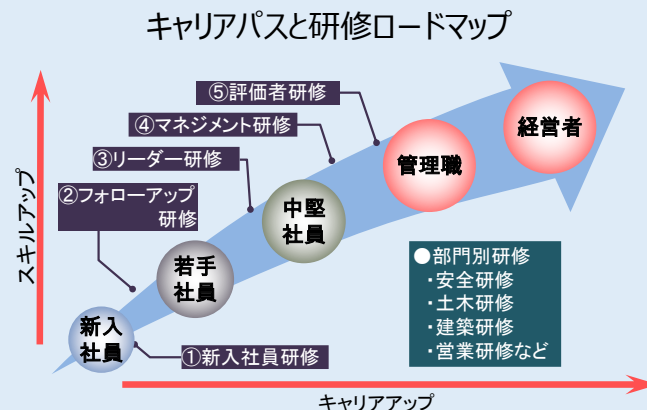
### 3. 社員への就学および学位取得への支援

### 4. 定年延長

2020年4月1日より60歳定年を65歳定年へ

### 5. 若築奨学金制度の運用

（海洋開発の将来を担う若手技術者の育成）



奨学生懇談会の様子



## 5. 海外事業の基盤強化

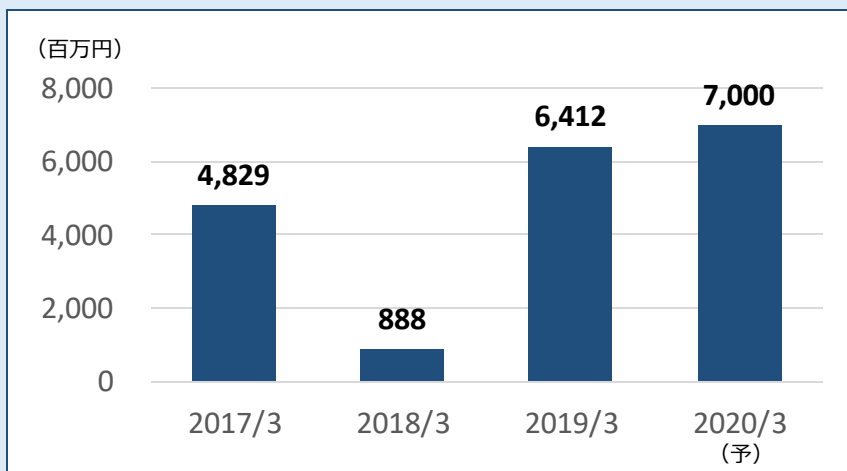
### ● 現海外事業所：5拠点

スリランカ（コロンボ事務所）／インドネシア（ジャカルタ事務所）  
／ベトナム（ハノイ事務所）／ラオス（ビエンチャン事務所）  
／モルディブ（マレ事務所）

### ● 主な施工実績のある国：9か国

スリランカ／インドネシア／東ティモール／ラオス／モルディブ  
／サモア／ニカラグア／ミャンマー／パラオ

### ● 受注実績



### 【基盤強化】

#### 地域

東南アジアを中心に

#### 営業案件

ODA案件、民間案件

#### 取り組み工程

海上土木、陸上土木、建築

#### 海外要員の育成

外国人新卒技術者の採用実施  
国内技術者のジョブローテーション

# 数値目標（単体）と進捗状況

本業での利益は過去最高水準の継続を目指す計画のなか、  
最終年度の利益目標を達成する見通しで推移

## 現・中期経営計画期間

【単体】(億円)	2016/3 実績	2017/3 実績	2018/3 実績	2019/3 計画	2019/3 実績	2020/3 計画	2020/3 予想	2021/3 計画
建設受注高	841	900	914	950	921	970	970	1,000
売上高	734	789	896	900	962	930	950	960
売上総利益	67	71	81	83	94	89	95	93
売上総利益率	9.1%	9.1%	9.1%	9.3%	9.8%	9.6%	10.1%	9.7%
営業利益	22	25	33	33	41	39	43	42
営業利益率	3.1%	3.2%	3.7%	3.7%	4.3%	4.2%	4.5%	4.5%
経常利益	21	24	32	32	40	38	42	41
純資産	217	236	257	—	281	—	299	300億円以上
ROE	9.3%	10.0%	10.9%	9%程度	11.3%	9%程度	9.8%	9%程度
配当性向	20.0%	22.7%	22.7%	20%以上	23.3%	20%以上	27.1%	25%以上

# 株主還元について

## 利益配分 基本方針

将来に備え企業体質の強化を図るとともに、  
会社を取り巻く環境を勘案しつつ、

**単体配当性向を20%以上**とし、

業績に応じた利益還元努めるとともに

長期安定的な配当を継続する

※創業130周年の2021/3期は、25%以上を  
目指す

## 2020/3 配当予想

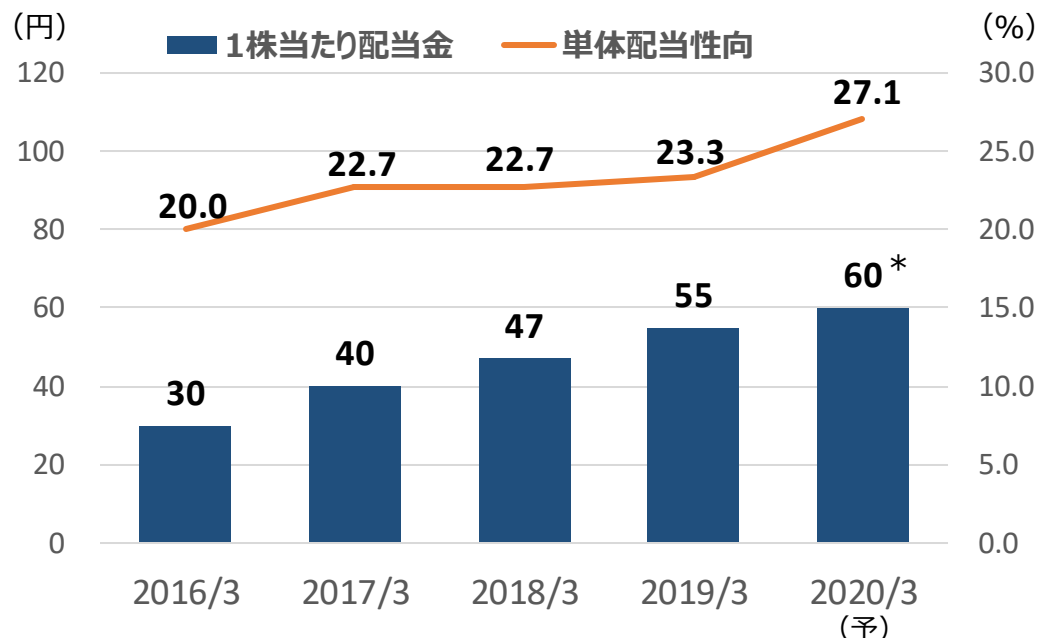
(1株当たり)

**60円**

普通配当 55円

+

創業130周年記念配当 5円



\* : 配当金の内訳 : 普通配当55.00円、創業130周年記念配当5.00円

注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施。  
グラフは、この株式併合が2016/3期に行われたものと仮定して遡及修正。

## <自己株式取得>

- 5/13に、220,000株 (上限)、300百万円 (上限) の取得を決議
- 9/30までに、146,900株、約209百万円を取得済み

### 3. 2020年3月期2Qの決算概要と通期予想



- 連結売上高は、手持ち工事の順調な進捗と大型工事の竣工等により、前年度と比べ17.8%増の535億円
- 連結営業利益は、売上高増と土木部門の採算向上により、前年度と比べ31.2%増の25億円
- 連結経常利益は、24億円（前年同期比25.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰越欠損金控除の終了により税負担が増加し、16億円（前年同期比6.3%増）
- 建設受注高（単体）は、予定案件の下期への期ズレ等があり、前年度と比べ5.5%減の442億円  
通期は、下期に注力し970億円（前年比5.2%増）を予想

# 決算サマリー 損益等の状況

	2019/3 2Q		2020/3 2Q		前年比 増減率 (%)	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)		
連結	売上高	45,476	—	53,556	—	17.8
	売上総利益	4,707	10.4	5,491	10.3	16.6
	販管費	2,748	6.0	2,920	5.5	6.3
	営業利益	1,959	4.3	2,570	4.8	31.2
	経常利益	1,977	4.3	2,487	4.6	25.8
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,536	3.4	※ 1,633	3.1	6.3
単体	建設事業受注高	46,817	—	44,241	—	△5.5
	売上高	44,377	—	52,048	—	17.3
	売上総利益	4,378	9.9	5,011	9.6	14.5
	販管費	2,593	5.8	2,756	5.3	6.3
	営業利益	1,784	4.0	2,254	4.3	26.4
	経常利益	1,820	4.1	2,186	4.2	20.1
	四半期純利益	1,480	3.3	※ 1,507	2.9	1.8

※ 繰越欠損金控除の終了による税負担の増加



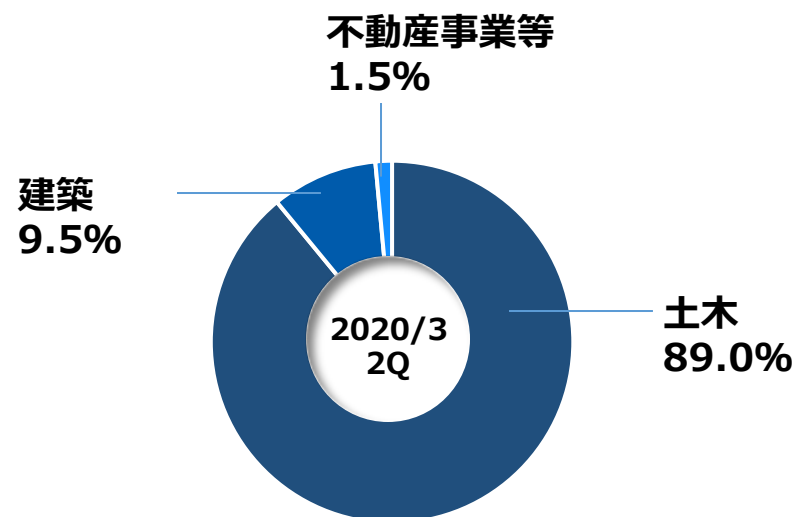
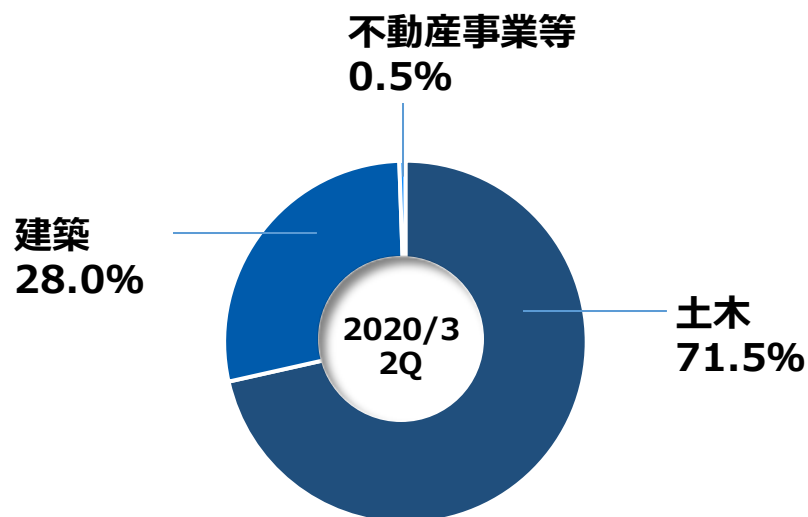
# セグメント別の状況（単体）～ 概要

## 売上高 (百万円)

	2019/3 2Q	2020/3 2Q	増減率 (%)
完成工事	44,050	51,766	17.5
土木	33,443	37,208	11.3
建築	10,606	14,558	37.3
不動産事業等	326	281	△14.0
合計	44,377	52,048	17.3

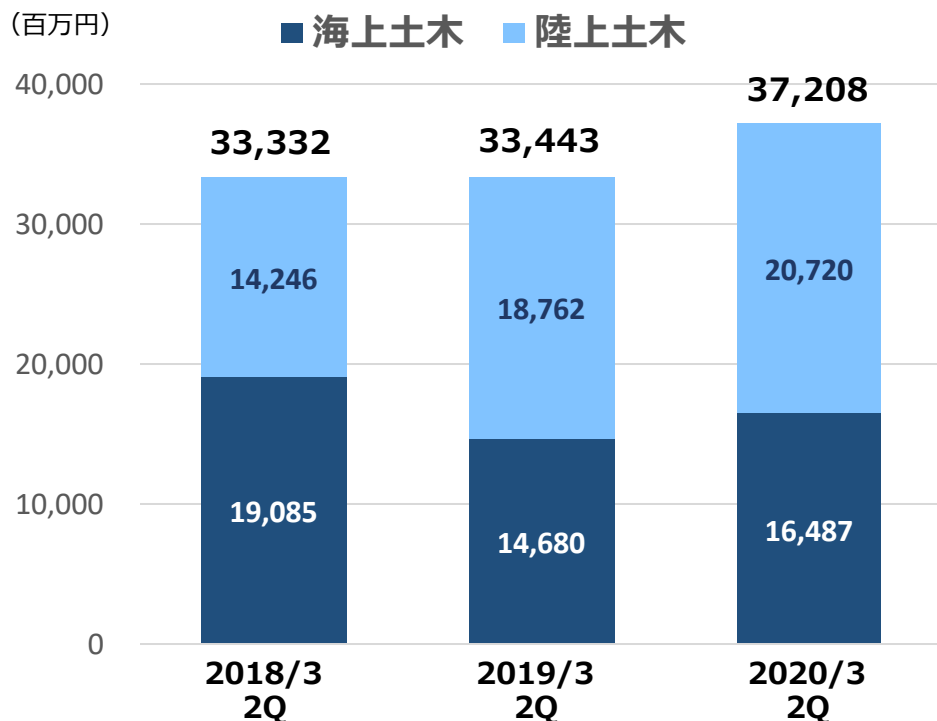
## 売上総利益 (百万円)

	2019/3 2Q	対売上高比率 (%)	2020/3 2Q	対売上高比率 (%)	増減率 (%)
完成工事	4,251	9.7	4,936	9.5	16.1
土木	3,295	9.9	4,461	12.0	35.4
建築	956	9.0	475	3.3	△50.3
不動産事業等	126	38.6	74	26.6	△40.7
合計	4,378	9.9	5,011	9.6	14.5



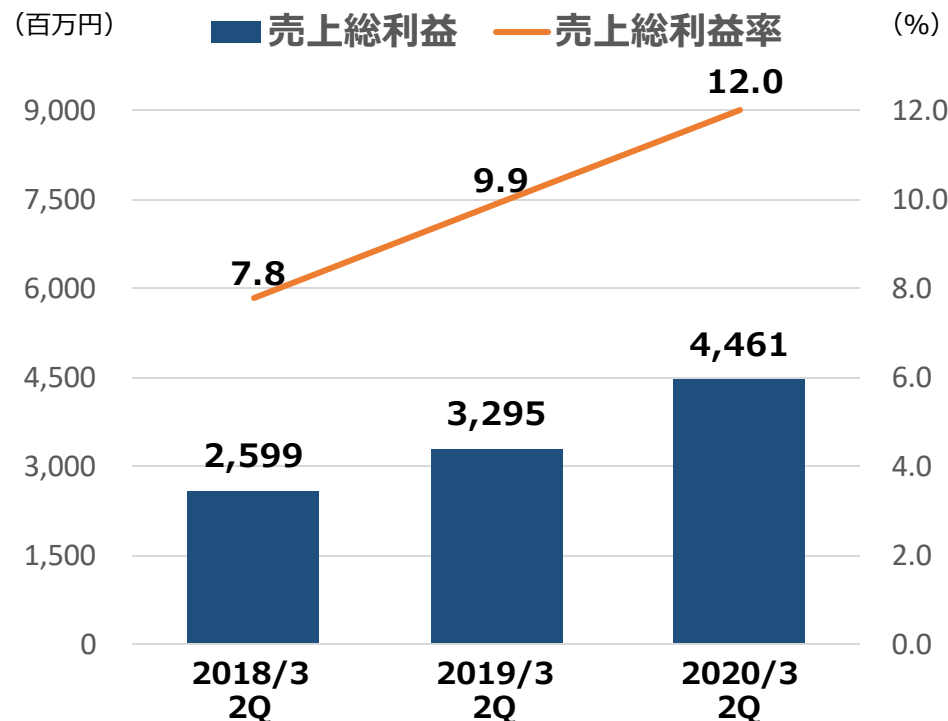
# セグメント別の状況（単体） ① 土木

## 売上高



- 海上土木は、岸壁整備、空港埋立て、再生可能エネルギー関連工事が順調に進捗
- 陸上土木は、高速道路、新幹線、再生可能エネルギー関連工事が順調に進捗

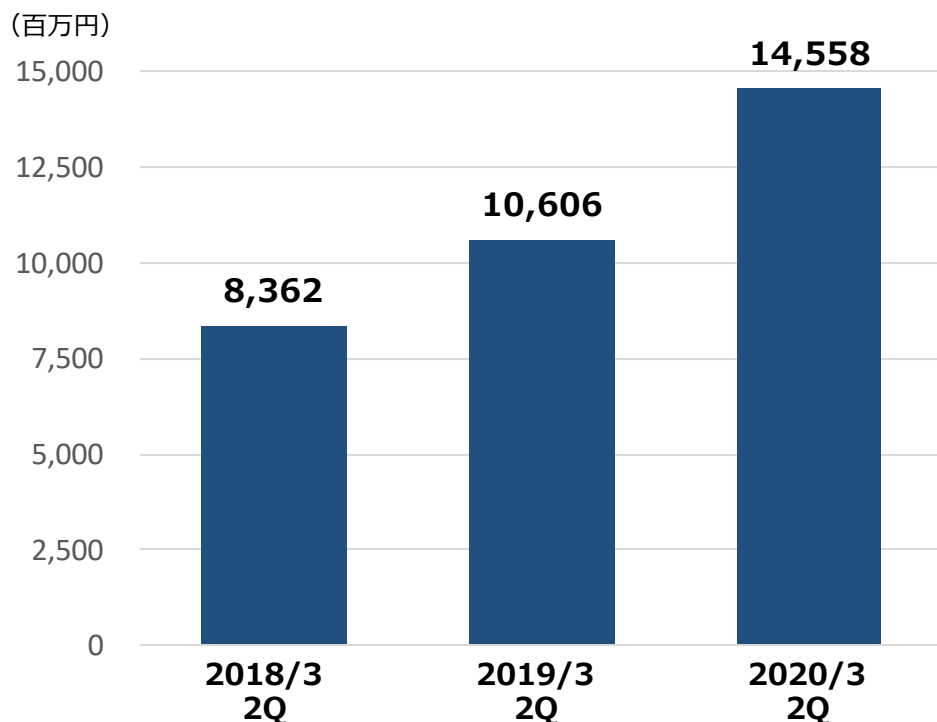
## 売上総利益



- 選別受注の徹底、提案力強化により売上総利益率は前年度9.9%から12.0%へ
- 売上高の増加、利益率向上により、売上総利益額は増加

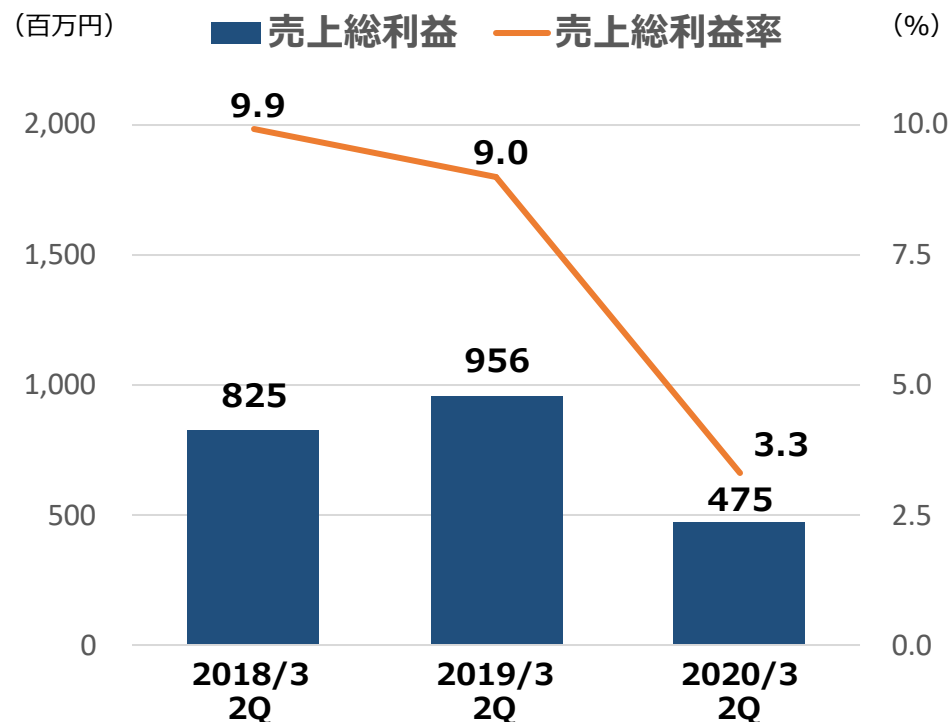
# セグメント別の状況（単体） ② 建築

## 売上高



- 複合ビル、高速道路 S A 休憩施設等の大型工事が竣工

## 売上総利益

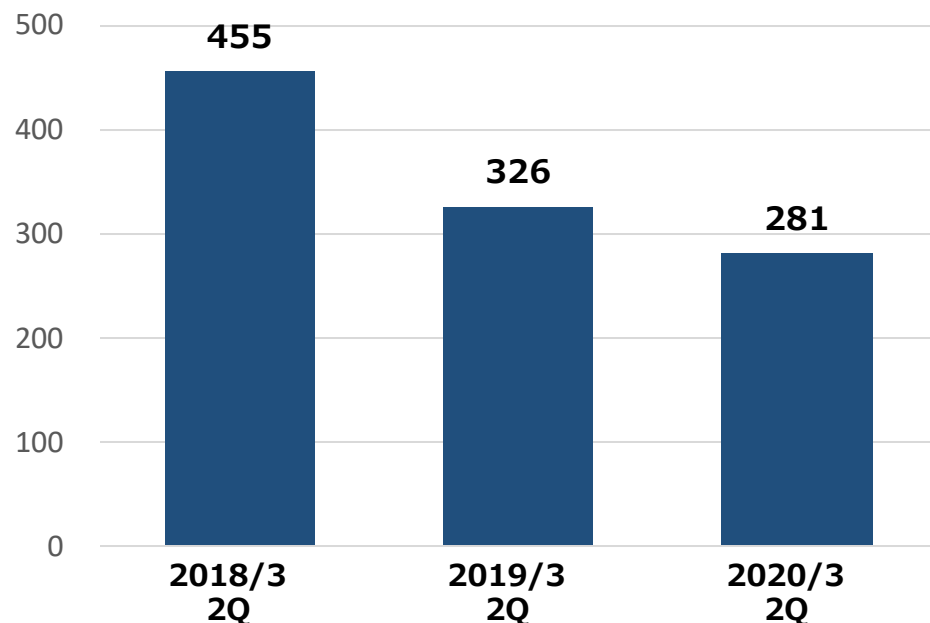


- 特定の大型工事の採算悪化により売上総利益率は前年度9.0%から3.3%へ
- ただし、当該大型工事は第2四半期で完成、下期への影響は無い

# セグメント別の状況（単体） ③不動産事業等

## 売上高

(百万円)

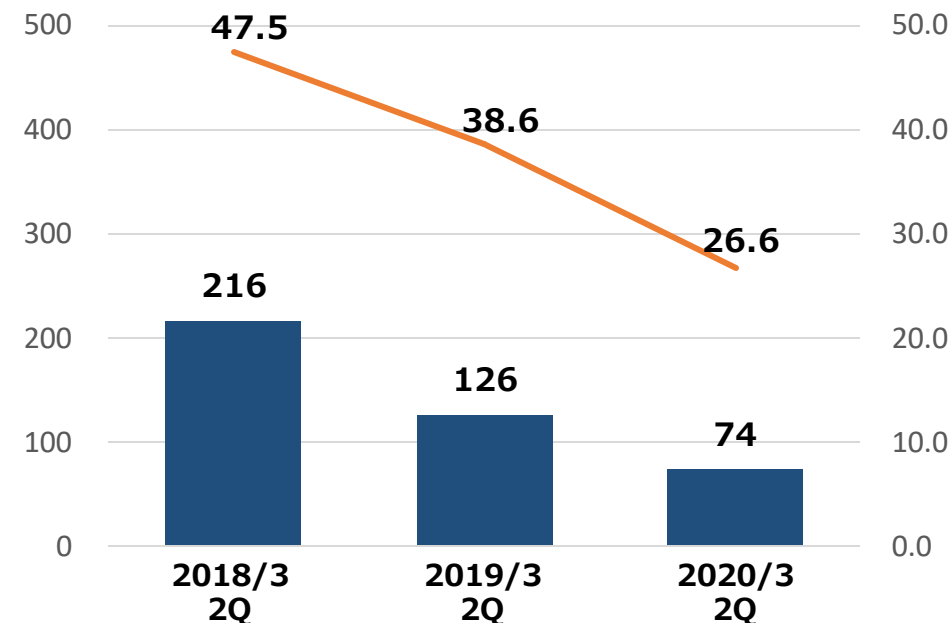


- 戸建て用地の販売収束により、安定収入の賃貸収益が中心に

## 売上総利益

(百万円)

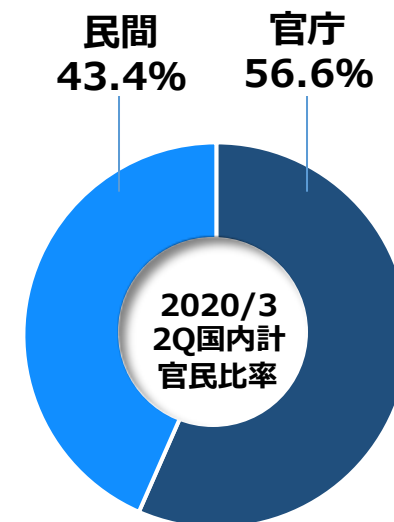
■ 売上総利益    — 売上総利益率 (%)



- 戸建て用地の販売収束により、賃貸利益が中心に
- 前年度、前々年度には、九州土地の販売利益を含む

# 受注高の推移（単体、セグメント別・官民別）

建設受注高		(百万円)			
		2018/3 2Q	2019/3 2Q	2020/3 2Q	前年比 増減率 (%)
国内土木	官庁	19,485	19,369	<b>17,910</b>	△7.5
	民間	12,658	11,158	<b>9,302</b>	△16.6
	計	32,144	30,527	<b>27,213</b>	△10.9
国内建築	官庁	1,766	4,443	<b>4,605</b>	3.7
	民間	14,625	11,829	<b>7,784</b>	△34.2
	計	16,392	16,272	<b>12,390</b>	△23.9
国内計	官庁	21,252	23,812	<b>22,516</b>	△5.4
	民間	27,284	22,987	<b>17,086</b>	△25.7
	計	48,536	46,800	<b>39,603</b>	△15.4
海外		93	17	<b>4,637</b>	26,512.2
合計		48,629	46,817	<b>44,241</b>	△5.5
進捗率		53.2%	50.8%	<b>45.6%</b>	—
通期実績（予想）		91,400	92,190	<b>97,000</b>	5.2



- 上期予定案件が下期へ期ズレ ⇒下期へ注力
- 国内官民比率 = 56.6% : 43.4%、通期は50% : 50%を目標

# 財政状態（連結）

## 要約連結貸借対照表

(百万円)

		2019/3末	2019/9末	備考	
資産の部	流動資産	69,678	67,195	●JVの立替金、未収入金の減少	●完成工事未収入金の減少
	固定資産	11,954	12,715		
	資産合計	81,632	79,911		
負債の部	流動負債	46,396	44,121	●支払手形・未払金の減少	●短期借入金の増加
	固定負債	6,505	6,162	●長期借入金の減少	
	負債合計	52,902	50,283		
純資産の部	株主資本	26,788	27,499		
	その他の包括利益累計額	1,014	1,134		
	非支配株主持分	928	993		
	純資産合計	28,730	29,627	●親会社株主に帰属する四半期純利益増加	●配当金の支払、自己株式の取得
負債純資産合計		81,632	79,911		

# キャッシュフローの状況（連結）

## 要約連結キャッシュフロー計算書

(百万円)

	2019/3 2Q	2020/3 2Q	主な増減要因
営業活動キャッシュ・フロー	6,574	2,064	● 売上債権の減少額の縮小
投資活動キャッシュ・フロー	222	△1,151	● 投資有価証券の増加、設備投資
財務活動キャッシュ・フロー	△2,535	97	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△129	
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,261	880	
現金及び現金同等物の期首残高	13,864	14,384	
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,126	15,265	

# 2020年3月期 通期業績予想



	2019/3実績		2020/3予想		前年比 増減率 (%)	
	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)	金額 (百万円)	対売上高比率 (%)		
連結	売上高	99,675	—	98,000	—	△1.7
	営業利益	4,607	4.6	4,650	4.7	0.9
	経常利益	4,440	4.5	4,500	4.6	1.3
	親会社株主に帰属する 当期純利益	3,203	3.2	※ 3,000	3.1	△6.3
単体	建設事業受注高	92,190	—	97,000	—	5.2
	売上高	96,284	—	95,000	—	△1.3
	営業利益	4,157	4.3	4,300	4.5	3.4
	経常利益	4,052	4.2	4,200	4.4	3.6
	当期純利益	3,053	3.2	※ 2,850	3.0	△6.7

※ 繰越欠損金控除の終了による税負担の増加



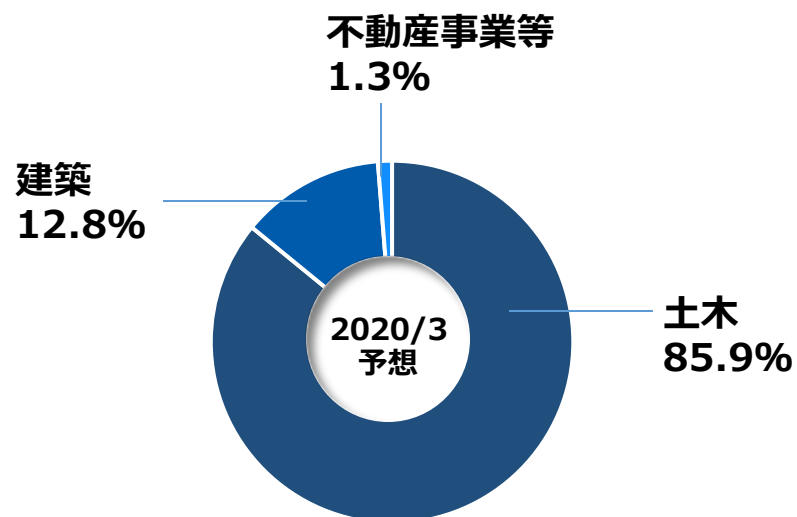
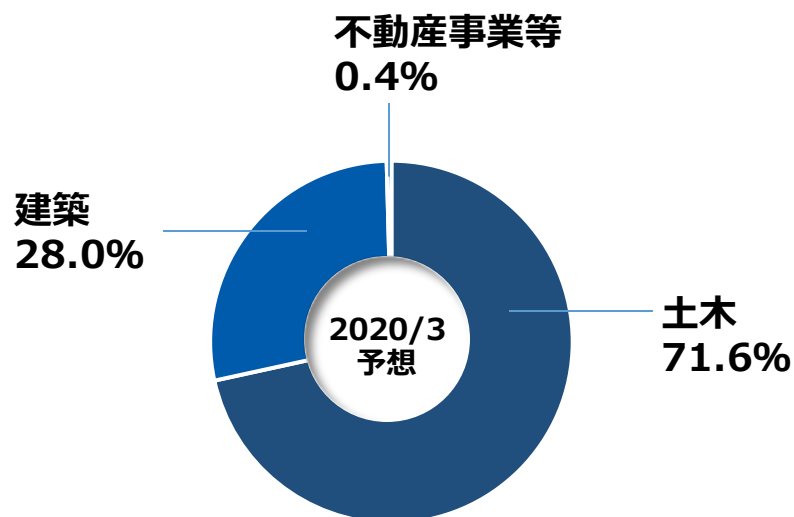
# 2020年3月期 通期セグメント別予想（単体）

## 売上高 (百万円)

	2019/3 実績	2020/3 予想	増減率 (%)
完成工事	95,494	94,600	△0.9
土木	68,687	68,000	△1.0
建築	26,806	26,600	△0.8
不動産事業等	790	400	△49.4
合計	96,284	95,000	△1.3

## 売上総利益 (百万円)

	2019/3 実績	対売上高比率 (%)	2020/3 予想	対売上高比率 (%)	増減率 (%)
完成工事	9,512	10.0	9,460	10.0	△0.6
土木	7,130	10.4	8,230	12.1	15.4
建築	2,382	8.9	1,230	4.6	△48.4
不動産事業等	△80	△10.1	120	30.0	-
合計	9,432	9.8	9,580	10.1	+1.6



# 主な完成工事・受注工事

## 2020年3月期の主な完成工事

発注者	工事名	工事場所
内閣府沖縄総合事務局	那覇空港滑走路増設 1 工区埋立工事 (2次)	沖縄県
国土交通省北陸地方整備局	金沢港(南地区)岸壁(-7.5m)(改良)築造工事 (その3)	石川県
国土交通省九州地方整備局	平成30年度佐世保港(浦頭地区)岸壁(-10m)築造工事	長崎県
東日本高速道路株式会社	東北自動車道 蓮田SA(新上り線)休憩施設新築工事	埼玉県
西日本鉄道株式会社	(仮称)香椎照葉5丁目計画商業賃貸シニア棟新築工事	福岡県

## 2020年3月期の主な受注工事

発注者	工事名	工事場所
国土交通省関東地方整備局	横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事	神奈川県
国土交通省北陸地方整備局	敦賀港(鞠山南地区)岸壁(-14m)地盤改良工事 (その1)	福井県
兵庫県神戸市	平成30年災 神戸港沖災害復旧工事 (その1)	兵庫県
株式会社日立パワーソリューションズ	大堰台風力発電設備 土木・建築・付帯設備工事	山形県
学校法人福岡大学	福岡大学自修寮(仮称)新築工事	福岡県

## 問合せ先

### 若築建設株式会社

東京本社 経営企画部

TEL:03-3492-0308

FAX:03-3492-1785

〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-18

#### 【免責事項】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある点にご留意ください。